

令和 2 年度

下水道事業会計
【 決算概要 】

令和 3 年 12 月 20 日

滝沢市上下水道部

令和2年度下水道事業会計決算概要

1 業務の概要

令和2年度末の汚水処理区域内人口は、39,111人で前年度より688人増加し、行政区内人口に対する普及率は、70.5%で前年度より1.0ポイント増となりました。また、水洗化人口は、37,333人で処理区域内人口に対する水洗化率は、95.5%となりました。

整備面積は、775.1haで前年度より6.7ha増加し、事業計画面積に対する整備率は93.4%となりました。

汚水の年間総処理水量は、4,469,662m³で前年度より448,182m³（11.1%）増加し、有収水量は3,446,575m³で前年度より161,651m³（4.9%）増となりました。この結果、有収率は、前年度の81.7%と比較して4.6ポイント減の77.1%となりました。

【表-1】業務概要

区分	年度		令和2年度	令和元年度	比較増減	
			①	②	③=①-②	③/②×100
行政区内人口	A	人	55,506	55,325	181	0.3 %
処理区域内人口	B	人	39,111	38,423	688	1.8 %
水洗化人口	C	人	37,333	36,508	825	2.3 %
普及率	B/A	%	70.5	69.4	1.1	—
水洗化率	C/B	%	95.5	95.0	0.5	—
事業計画面積	D	ha	830.0	830.0	0.0	0.0 %
整備面積	E	ha	775.1	768.4	6.7	0.9 %
整備率	E/D	%	93.4	92.6	0.8	—
年間総処理水量	F	m ³	4,469,662	4,021,480	448,182	11.1 %
年間総有収水量	G	m ³	3,446,575	3,284,924	161,651	4.9 %
有収率	G/F	%	77.1	81.7	△4.6	—

2 決算概要

(1) 収益的収支

営業収益は、795,831,840円（前年度比1.73%増）、営業費用は、901,343,011円（前年度比5.75%増）で、この結果、営業損失は、105,511,171円（前年度比50.60%増）となりました。営業外収益は、326,691,689円（前年度比0.64%減）、営業外費用は、89,401,396円（前年度比8.74%減）で、この結果、営業損失に営業外収益と営業外費用を加減した経常利益は、前年度より28,937千円減（18.01%減）の131,779,122円となりました。また、特別損失、特別利益を加減した当期純利益は、27,139,022円（16.89%減）の133,577,332円となっています。

【図-1】収益的収支

単位:円(税抜)

収入	下水道使用料	他会計負担金・ 他会計補助金・ 手数料	引当金戻入益 ・長期前受金 戻入益	他会計補助 金・国庫補 助金	雑収益
	520,102,849 46.26 %	275,728,991 24.52 %	322,803,707 28.71 %	3,547,000 0.32 %	340,982 0.03 %
	営業収益 795,831,840 70.78 %		営業外収益 326,691,689 29.06 %		
			特別利益 1,798,210 0.16 %		
支出	流域下水道 管理費ほか 維持管理費	減価償却費	支払利息	普及促進費	当期純利益
	318,392,625 32.24 %	581,921,356 58.74 %	89,395,851 9.02 %	5,545 0.00 %	133,577,332
	営業費用 901,343,011 90.98 %		営業外費用 89,401,396 9.02 %		

【表-2】前年度との比較(収益的収支)

収入

単位:円(税抜)

区 分	令和2年度 A	令和元年度 B	比較増減	
			C=A-B	C/B×100
下水道事業収益	1,124,321,739	1,111,012,392	13,309,347	1.20 %
営業収益 A	795,831,840	782,271,533	13,560,307	1.73 %
下水道使用料	520,102,849	497,305,966	22,796,883	4.58 %
他会計負担金	22,561,091	21,641,000	920,091	4.25 %
他会計補助金	252,329,000	262,960,667	△ 10,631,667	△ 4.04 %
その他営業収益(手数料)	838,900	363,900	475,000	130.53 %
営業外収益 B	326,691,689	328,740,859	△ 2,049,170	△ 0.62 %
引当金戻入益	2,065,510	2,737,239	△ 671,729	△ 24.54 %
長期前受金戻入益	320,738,197	321,605,963	△ 867,766	△ 0.27 %
他会計負担金	3,152,000	3,688,000	△ 536,000	△ 14.53 %
国庫補助金※1	395,000	465,000	△ 70,000	△ 15.05 %
雑収益	340,982	244,657	96,325	39.37 %
特別利益 C	1,798,210	0	1,798,210	

※1 国庫補助金は、下水道接続推進に係る社会資本整備総合交付金(国費率:5/10)

支出

単位:円(税抜)

区 分	令和2年度 A	令和元年度 B	比較増減	
			C=A-B	C/B×100
下水道事業費用	990,744,407	950,296,038	40,448,369	4.26 %
営業費用 D	901,343,011	852,330,942	49,012,069	5.75 %
維持管理費	318,392,625	282,012,863	36,379,762	12.90 %
管渠費	38,020,551	39,427,988	△ 1,407,437	△ 3.57 %
雨水処理費	429,669	0	429,669	皆増
流域下水道管理費	190,072,704	154,105,452	35,967,252	23.34 %
業務費	55,259,172	54,501,982	757,190	1.39 %
総係費	34,610,529	33,977,441	633,088	1.86 %
減価償却費、資産減耗費	581,921,356	569,172,093	12,749,263	2.24 %
普及促進費	796,000	933,000	△ 137,000	皆増
その他営業費用	233,030	212,986	20,044	皆増
営業外費用 E	89,401,396	97,965,096	△ 8,563,700	△ 8.74 %
支払利息	89,395,851	97,924,290	△ 8,528,439	△ 8.71 %
普及促進費	0	0	0	
その他営業外費用	5,545	40,806	△ 35,261	△ 86.41 %
特別損失 F	0	0	0	
営業損失 G=D-A	105,511,171	70,059,409	35,451,762	50.60 %
経常利益 H=B-G-E	131,779,122	160,716,354	△ 28,937,232	△ 18.01 %
当期純利益 I=H+C-F	133,577,332	160,716,354	△ 27,139,022	△ 16.89 %

(2) 資本的収支

資本的収支（消費税及び地方消費税込額）は、資本的収入が 445,477,230円、資本的支出が 794,075,080円であり、資本的収入が資本的支出に不足する額 348,597,850円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 29,960,692円、減債積立金 160,716,354円、過年度分損益勘定留保資金24,142,932円、当年度分損益勘定留保資金 133,777,872円で補てんしました。

【図-2】資本的収支

単位:円(税込)

収入	企業債	補助金	負担金	補てん財源	消費税等調整額	29,960,692
	445,477,230	326,800,000 73.36 %	75,655,000 16.98 %		43,022,230 9.66 %	減債積立金
				348,597,850	損益勘定留保資金	157,920,804
					利益剰余金処分額	0
支出	建設改良費		企業債償還金		その他(報奨金)	
	794,075,080	426,574,807 53.72 %	367,500,273 46.28 %	0 0.00 %		

【表-3】前年度との比較(資本的収支)

単位:円(税込)

区 分	令和2年度 A	令和元年度 B	比較増減	
			C=A-B	C/B×100
資本的収入	445,477,230	486,592,020	△ 41,114,790	△ 8.45 %
企業債	326,800,000	296,200,000	30,600,000	10.33 %
補助金	75,655,000	156,087,000	△ 80,432,000	△ 51.53 %
国庫補助金	75,655,000	156,087,000	△ 80,432,000	△ 51.53 %
一般会計補助金	0	0	0	
負担金	43,022,230	34,305,020	8,717,210	25.41 %
受益者負担金・分担金	25,324,230	17,107,020	8,217,210	48.03 %
他会計負担金	17,698,000	17,198,000	500,000	2.91 %
資本的支出	794,075,080	847,203,015	△ 53,127,935	△ 6.27 %
建設改良費	426,574,807	473,354,580	△ 46,779,773	△ 9.88 %
管渠建設事業費	363,182,715	461,845,836	△ 98,663,121	△ 21.36 %
雨水建設事業費	20,042,000	0	20,042,000	皆増
流域下水道建設費	43,350,092	11,508,744	31,841,348	276.67 %
固定資産購入費	0	0	0	皆増
企業債償還金	367,500,273	373,554,335	△ 6,054,062	△ 1.62 %
その他(報奨金)	0	294,100	△ 294,100	皆減

3 事業報告

(1) 施策目標達成に向けた取組

第1次滝沢市総合計画のビジョンに掲げる『ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します』の実現のため、以下の3つの施策目標を定め各施策の展開を図りました。

環境にやさしく快適な下水道整備

污水管渠建設事業は、前年度からの繰越事業を含め、小岩井、巣子、滝沢駅前地区において污水管渠整備及び舗装復旧工事を実施しました。

このほか、巣子マンホールポンプ場に係る監視設備の改築を実施し、施設の機能維持や機能向上を図りました。

污水管渠整備工事（小岩井地区）φ150	L=53.9m	6,108千円
污水管渠整備工事（巣子地区）φ150	L=469.1m	48,665千円
污水管渠整備工事（滝沢駅前地区）φ150	L=372.4m	40,932千円
舗装復旧工事（小岩井地区3件）	A=7,532㎡	47,966千円
篠木・大沢汚水中継ポンプ場制御盤更新工事	N=4箇所	3,520千円

安全・安心な雨水排除施設の整備

雨水建設事業については、大釜地区における浸水対策事業の実施に向け、実施設計を行いました。

大釜排水区雨水施設測量調査設計	17,259千円
大釜排水区雨水幹線工事支援（設計書作成）	2,783千円

下水道経営基盤の充実

接続率向上のため、広報やホームページで早期水洗化を周知しているほか、資金融資のあっせん、排水設備助成事業補助を実施しており、工事説明会においては、制度、供用開始予定年月、宅地内排水設備工事の概要等を説明するほか、回覧、チラシ配布により、接続啓発を行い、経営基盤の充実を図っています。

また、浸入水防止対策として、鵜飼西地区取付管更生工事、鵜飼西地区で人孔鉄蓋交換工事を実施しました。

管渠更生工事（鵜飼西地区）取付管φ125・150	N=152箇所	112,422千円
人孔鉄蓋交換工事（鵜飼西地区）	N=43箇所	13,485千円
巣子第1・第2マンホールポンプ更新	N=2箇所	19,597千円

(2) 主な指標の達成状況

平成29年3月に策定した下水道事業経営戦略に掲げる投資・財政計画に関する指標の達成状況は【表-4】のとおりとなっています。

経費回収率は98.9%で、目標値を16.1ポイント下回りました。

総収支比率及び経常収支比率は、ともに前年度を3.4ポイント下回りましたが、目標値はともに上回りました。

流動比率は、前年度と比較して16.4ポイント増の74.7%で、経営指標（R元全国平均）を4.6ポイント上回っている状況となりました。

【表-4】指標達成状況

指標名	令和2年度	令和元年度	比較増減	目標値 (令和元年度)	目標値(又は経営指標)との差
経費回収率 (%)	98.9	141.5	△ 42.6	≧ 115.0	↓ 16.1
人口普及率 (%)	70.5	69.5	1.0	≧ 66.5	↑ 4.0
流動比率 (%)	74.7	58.3	16.4	(経営指標) ≧ 70.1	↑ 4.6
自己資本構成比率 (%)	69.3	69.2	0.1	(経営指標) ≧ 62.5	↑ 6.8
総収支比率 (%)	113.5	116.9	△ 3.4	(経営指標) ≧ 111.8	↑ 1.7
経常収支比率 (%)	113.5	116.9	△ 3.4	(経営指標) ≧ 108.1	↑ 5.4

※ 経営指標:「令和元年度地方公営企業年鑑 下水道事業」(総務省)より

※ 「目標値との差」において、「↑」は達成、「↓」は未達成。

$$\begin{aligned}
 \cdot \text{経費回収率} &= \frac{\text{使用料収入}}{\text{汚水処理費(公費除く)}} \times 100 = \frac{520,103 \text{ 千円}}{525,858 \text{ 千円}} \times 100 = 98.9 \% \\
 \cdot \text{流動比率} &= \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 = \frac{291,859 \text{ 千円}}{390,690 \text{ 千円}} \times 100 = 74.7 \% \\
 \cdot \text{自己資本構成比率} &= \frac{\text{資本+繰延収益}}{\text{負債資本}} \times 100 = \frac{11,942,040 \text{ 千円}}{17,224,906 \text{ 千円}} \times 100 = 69.3 \% \\
 \cdot \text{総収支比率} &= \frac{\text{総収入}}{\text{総費用}} \times 100 = \frac{1,124,322 \text{ 千円}}{990,744 \text{ 千円}} \times 100 = 113.5 \% \\
 \cdot \text{経常収支比率} &= \frac{\text{営業収益+営業外収益}}{\text{営業費用+営業外費用}} \times 100 = \frac{1,124,322 \text{ 千円}}{990,744 \text{ 千円}} \times 100 = 113.5 \%
 \end{aligned}$$